

発表項目 (行事名)	令和6年度林産技術セミナーの開催について ～トドマツ林に侵入した「燃やすにはもったいない」広葉樹の流通改革へ		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>旭川市にある(地独)道総研林産試験場*では、日頃の研究成果を普及する目的で、毎年林産技術セミナーを開催しています。令和6年度は、日高管内で次のとおり実施します。</p> <p>※1950年に北海道で唯一の林産研究機関として設立され、様々な研究成果から木製品を有効に利用するための活動をしている。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>令和6年度林産技術セミナー (主催：(地独)北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：令和7年度(2025年度)1月31日(金)10:00～12:00</li> <li>・場所：日高振興局 4階 講堂(浦河郡浦河町栄丘東通56)</li> <li>・定員：100名(先着)参加料無料</li> <li>・講演内容</li> </ul> <p>演題：日高発：広葉樹の新たなサプライチェーンによる販路拡大の取組 講師：林産試験場 利用部 資源・システムグループ 研究主幹 酒井 明香</p>		
参考	<p>日高管内はミズナラやエゾヤマザクラなど広葉樹資源が豊富な地域であるものの、生産される広葉樹のほとんどがチップなどの価値の低い利用にとどまっています。そのため、広葉樹の高付加価値化や販路拡大など地元と林産試験場が連携して行ってきたこれまでの取組を題材としてセミナーを開催するものです。</p> <p>当セミナーは平成29年度に始まり、今回で9回目の開催。日高管内では初の開催。</p>		

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	

担当 (連絡先)	北海道日高振興局産業振興部林務課 林務課長 土井 剛(電話0146-22-9310) 主査(林産) 大久保 昭男(電話0146-22-9313)		
-------------	--	--	--

# 日高発: 広葉樹の 新たなサプライチェーン による販路拡大の取組



トドマツ林に侵入した「燃やすにはもったいない」広葉樹の流通改革へ



中間土場へ集荷→大径材仕分け→皮付き板製材→天然乾燥→多様な販促活動→新たな製品化

令和7年1月**31**日(金) 10:00~12:00(受付開始 9:30)

会場: 日高振興局 4F講堂

(浦河郡浦河町栄丘東通56)

アクセス: 「日高振興局」ホームページ参照

定員: 100名(先着順) 参加費無料

申込締切: 令和7年1月27日(月)

主催: 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場





# 令和6年度林産技術セミナー

## 日高発: 広葉樹の新たなサプライチェーンによる販路拡大の取組

- 北海道は日本有数の広葉樹の産地ですが、生産される広葉樹のほとんどはチップとして流通してきました。
- 「もったいない。もっと有効活用できないか」との組合員の声に応え、ひだか南森林組合は、チップ用に集めた広葉樹原木から、製材として利用できるものを選別し、加工、販売する取組を2020年から進めています。
- 北海道立総合研究機構は、2023年よりその取組の研究支援を開始しました。資源の持続性を考慮し、対象をトドマツ人工林の中の広葉樹侵入木に絞りました。
- 林産試験場はトドマツ人工林内の広葉樹資源把握、林産試験場は広葉樹の樹種別出材量と材質評価を担当し、北海道木材産業協同組合連合会と連携して販路拡大のサポートをしてきました。
- 本セミナーは、その中間報告として、林産試験場のこれまでの成果と、全道に広がった日高産広葉樹の販路や、製品化の状況についてお話しします。



講師

利用部 資源・システムグループ  
研究主幹 **酒井 明香**  
(さかい さやか)

### 参加申込書 [ 申込締切: 令和7年1月27日(月) ]

林産試験場企業支援部普及連携グループ 行き

FAX: 0166-75-3621

#### 【参加申込代表者】

所属 組織名		役職名 ・氏名	
電話番号	— —	メール アドレス	

#### 【その他参加者】

役職名・氏名

《インターネットからでも、参加申込みできます》

右のQRコードから申込みフォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

